

事務事業名 私立幼稚園協会教職員研修費補助金

区分	No	名称
章	1	やさしさと共生するまち
節	1	安心して子どもを生み育てられるまちをつくる
施策	1	子育ての不安と負担の軽減
小分類	4	経済的負担の軽減の支援
主要な施策	1	医療費、保育料、教育費等の支援
事務事業番号	005	事業開始年度 平成 14 年度 事業終了年度 平成 - 年度 会計種別 一般会計

部 名	保健福祉部	グループ名	子育てG
-----	-------	-------	------

事務事業の概要

《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	私立幼稚園の教職員の資質の向上を図ることにより、通園する園児の保護者の不安を解消し、もって子どもを安心して育てられる環境をつくることを目的とする。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成23年度の実績を具体的に記入してください)
	登別市私立幼稚園協会の研修計画に基づいて実施する研修等について、その経費の一部を補助金として交付する。
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	幼児教育に対する知識を深めることを目的に教職員の研修を補助していく。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)
	登別市私立幼稚園協会教職員研修費補助金交付要綱

事業費（財源内訳）の推移

《Plan・Do》

区分		単位	H22年度 決算	H23年度 決算	H24年度 当初予算	H25年度 見込	H26年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円	500	500	500	500	500
事業費 合計			500	500	500	500	500

指標の推移

《Check》

区分		単位	区分	22年度 実績	23年度 実績	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	対象研修回数	件	目標値	14	14	14	14	14
			実績値	12	16			
	研修会受講者数	人	目標値	110	110	110	110	110
			実績値	84	92			

現況		《Check》
現状の状態、問題点、課題等《事業前》	具体的な対策、解決の方向性《事業後》	
<p>予算の確保に苦慮している。</p>	<p>幼児教育の充実の観点から、今後も継続できるよ調整していきたい。</p>	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可）			《Check》
<b>1. 事務事業の妥当性について</b>			
<p>市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？</p>	<input type="checkbox"/>	市が主体に行うべき事業である	<p>判断理由及びその他所見</p> <p>幼児教育を推進するうえで、教職員の資質向上は欠かせない。</p>
	<input type="checkbox"/>	民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である	
	<input type="checkbox"/>	国、道、他団体等との連携や広域化が可能である	
	<input type="checkbox"/>	国、道、民間等の事業と重複・類似している	
<b>2. 事務事業の必要性について</b>			
<p>市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？</p>	<input type="checkbox"/>	市民、団体等から具体的な要望がある	<p>判断理由及びその他所見</p> <p>幼稚園協会より継続に対し強い要望があり、必要性の高い事業と考える。</p>
	<input type="checkbox"/>	市民アンケートの結果から必要性が高い	
	<input type="checkbox"/>	社会情勢、地域事情等から必要性が高い	
	<input type="checkbox"/>	市民の大部分が関連することから必要性が高い	
<b>3. 事務事業の効率性について</b>			
<p>事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？</p>	<input type="checkbox"/>	低予算、少労力で高い効果をあげている	<p>判断理由及びその他所見</p> <p>事業費は、予算の範囲内で措置している。</p>
	<input type="checkbox"/>	市で実施するほうが民間委託より効率性が高い	
	<input type="checkbox"/>	多額の経費や労力を要するがやむを得ない	
	<input type="checkbox"/>	将来的に効率性を向上できる	
<b>4. 事務事業の成果について</b>			
<p>目的を達成するための成果はあがっていますか？</p>	<input type="checkbox"/>	成果指標の向上が見られる	<p>判断理由及びその他所見</p> <p>本事業の目的である、教職員の資質向上という点に着目すれば、成果があがっていると考えます。</p>
	<input type="checkbox"/>	市民、団体等の声から成果を感じられる	
	<input type="checkbox"/>	目に見える形で成果があがっている	
	<input type="checkbox"/>	成果の把握は困難である	

担当グループによる評価		《Check》
<b>維持</b>	<p>左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)</p>	<p>当市の幼児教育の現状は、公立幼稚園を廃止し民間に委ねていることから、教育現場の充実を図るという観点から、本制度を平成14年度に制定したところです。また、国は、幼稚園教諭に対する研修機会を積極的に設けるよう都道府県に求めていることから、本事業は引続き、必要な事業である。</p>

行政評価会議による評価		《Check》
<b>改善</b>	<p>備考</p>	<p>補助対象とする研修等の精査など制度内容の明確化に向け検討すること。</p>